

## 就職 内定体験記

1. 株式会社ベイシア（販売職）
2. 山崎製パン株式会社（生産職）
3. 東洋紡株式会社 敦賀事業所（バイオ製造員）
4. 一般社団法人家畜改良事業団前橋種雄牛センター  
（家畜（種雄牛）の飼育管理）
5. (有)良農園（総合職）
6. 群馬県土地改良事業団体連合会（測量・設計技師）
7. 公務員（陸上自衛隊一般曹候補生）



### 1. 株式会社ベイシア（販売職）

私は、株式会社ベイシアに内定をいただきました。私がこの進路に決めたのは、7月頃でした。この企業を選んだ理由は、幼い頃からベイシアに買い物に行っていて、馴染みのある企業だからです。高校に入学し進路学習をしていく中で、私にとって身近な存在であるベイシアに興味をもちました。企業見学時に、社員同士の雰囲気の良いことや、お客様のことを考え細かいことにも工夫していることを知り、とても感動しました。さらに、研修制度が充実しているので、安心して働くことができると思い、就職試験を受けることにしました。

私が就職試験のためにやったことは、SPIと一般常識の問題をできるようにしたこと、面接の練習、企業見学でのことを思い出しノートに書くことです。面接練習では、先生方や友人に手伝ってもらい、何度も練習することができたので、本番ではあまり緊張せず、スムーズに話すことができました。

一週間後、内定という結果をいただきとても嬉しかったです。その時、私の母もその場にいたのですがとても喜んでいました。その姿を見て、ホッとしたのと同時に、就職したら頑張らないといけないなと思いました。

### 2. 山崎製パン株式会社（生産職）

私が内定をもらうまでの体験について話していこうと思います。

まず、企業見学では企業様からの印象をよくするために身だしなみ・態度をしっかりとすることを心がけました。

その後に始めたのは面接で話す内容の整理です。山崎製パンはパンを製造する会社

なので、普通の質問はもちろんのことパン関連の質問が来ることを見越して「弊社のパンで何が好きですか」などと言われても受け答えができるようにしました。

その次に、整理した内容をよく頭に入れた上でいろんな先生や生徒に協力してもらい、面接練習をしました。面接練習をいろんな人とすることによって、新たな発見をすることができます。例えば、「この質問には答えられると思ってたのに、実際に質問されたら答えられなかった」ってことや、「こんな質問想定してないよ！答えられるわけ無いじゃん！」ってことも、その場ではうまく答えられなくてもその失敗を生かしてもう一回同じ質問が来たときにうまく答えられるかどうかが問題で、実際私は本番の試験中に「練習しておいて良かった！」という場面がいくつもありました。

こんな感じで私の就活は幕を閉じました。練習をするかしないかで結果は大きく変わるはずです。

### 3. 東洋紡株式会社 敦賀事業所（バイオ製造員）

私は実習や植物バイオ研究部でのプロジェクト活動を通して、バイオテクノロジーの魅力を実感しました。そして、将来は絶対にバイオ関連の仕事をしたいと考えようになりました。そのためにも、大学へ進学する必要があると考え、勉強に励んでいました。

3年生になり、学校へたくさんの求人票が来る中、担任の先生から「県外からバイオ製造員の求人が来た」とクラスに伝えられました。私も求人票をみて進学するか就職するか悩みましたが、チャンスは今しかないと思い、東洋紡株式会社に就職することを決意しました。

初めて来た求人ということもあり、どう試験対策をすればいいのか不安な時もありました。どんな問題が出るのか前例がない分、できる対策は何でもしました。SPIのワークを繰り返し解き、作文は、試験時間内に書き終わられるようにペースを考えながら練習しました。面接では受け答えの内容や態度で失敗しないように、何度も練習を重ねました。その努力のいかにもあり、落ち着いて試験を受けることができました。

私は内定をいただくまでの過程で沢山の人の支えられてきました。特にお忙しい中、面接練習に付き合っていたいただいた先生方には、とても感謝しています。今後は社会に貢献できるように頑張ります。これから目標に向かうみなさんも最後まで頑張ってください。

### 4. 一般社団法人 家畜改良事業団 前橋種雄牛センター

（家畜（種雄牛）の飼育管理）

私は、群馬県前橋市にある一般社団法人家畜改良事業団前橋種雄牛センターという会社に内定をいただきました。私がこの会社に決めたのは2年の秋頃でした。担任の先生との面談で進路に迷っていると話したところ、勢多農の先輩で先生の教え子でもある人が働いている会社があると紹介していただき、そこから興味を持つようになりました。

2年生になり長期インターンシップがあることを知り、実際にこの目で会社を見てみたいと思い、こちらから会社をお願いをして、インターンシップに行かせていただきました。そこで、実際に業務を体験したり、社員の方からお話を聞いたりして、ここなら自分のポテンシャルを生かして働けるのではないかと思い、この会社に決めました。

3年生になって、就職試験が近づいてきた頃に、面接の練習が始まりました。計2回の面接練習を7割の出来だと言われてしまい、顧問の先生にも面接練習をしてもらいましたが、そこでもあと一步だと言われてしまい、結局完璧ではないまま不安を残しつつ試験をむかえてしまいました。試験内容は、面接と適性検査でした。不安のあった面接練習でしたが、お互い顔を知っていたこともあり、程よい緊張感で大きな失敗もなく面接ができました。適性検査は初めてやる試験だったので不安でしたが、無事に内定をいただくことができました。内定をいただくまでに私を支えてくれたたくさんの方々へ感謝をし、社会人として頑張っていきたいと思います。

## 5. (有)良農園 (総合職)

私は、有限会社良農園に内定をいただきました。私がこの農園に決めたのは3年の2学期と少し遅くなってしまいました。良農園以外にもう一つ別の農園も見学していましたが、そこで、「若いのだから、いろいろな野菜を育てている方がいいのでは」と言っていただき、良農園を教えてもらいました。職場見学に行ってみると、職場の雰囲気も良く、仕事の流れなども細かく教えてもらい、良農園に決めました。

雇用就農の会社に就職したいと決めたのは、高校2年の3学期です。最初は料理人になりたいと思っていたのですが、コロナの影響もあり、今必要な仕事、自分に向いている仕事を考え、就農を決断しました。

就職が決まるまでの流れは、職場見学、面接のほか、職場体験を学校が休みの日に8回ほど行いました。朝8時半に出勤し、12時から1時間の昼休みをはさみ、3時の終業まで、袋詰めや野菜の調整など様々な仕事を体験しました。畑には3回ほど行きました。社員の皆さんが淡々と作業する中、経験のない私は作業が遅く、分からないところもたくさんあったのですが、皆さんが優しく声をかけて下さり、その言葉の

おかげで気持ちが楽になったのを覚えています。

この就職活動を終えて、農業の大変さを知れたし、最終決断ができたとは思っています。内定をいただいたからには、良農園の期待以上に頑張り恩を返したいです。

## 6. 群馬県土地改良事業団体連合会（測量・設計技師）

私は群馬県土地改良事業団体連合会に内定をいただきました。私がこの会社に決めたのは三年生の夏でした。

一年の最初の頃、私は将来のことについてあまり考えてなく、とりあえず就職できればいいと思っていました。ですが、一年生の終わりから二年生の最初にかけて測量士補試験の勉強を授業や放課後に行って測量士補試験に合格することができ、さらに二年のインターンシップで行かせていただいた企業で過ごすことで測量を仕事にしたいと思うようになりました。夏頃先生から紹介してもらって、群馬県土地改良事業団体連合会の企業見学に行かせていただき、ここに行きたいと思いました。

試験内容は一般常識と専門試験（土木関係）、作文、面接でした。特に、一般常識と専門試験を頑張りました。一般常識はSPI、専門試験は会社から送られてきた過去問で勉強していましたが、試験では一般常識はほとんど出てこなくて一般常識の方でも専門試験が出てきました。

私は内定をいただくまでにたくさんの人達に支えられてきました。この御恩を忘れず、これからもこの会社で成長していきたいと思います。

## 7. 公務員（陸上自衛隊一般曹候補生）

私は、陸上自衛隊一般曹候補生として内定をいただきました。私がこの進路を考え始めたのは、中学生の時の職場体験です。駐屯地を見学させてもらった時に実際に働いている自衛官の人を見てカッコいいと思い、そこから自衛官を目指すようになりました。広報官からもらった過去問を解いたり、説明会に参加したりと自分から進んで情報を取り入れてどうして自衛官になりたいのかをしっかりと考える事ができました。

進路が決まったときは本当に嬉しかったですが、本当に自分が自衛官になれるのか不安もありました。面接練習をしてくれた広報官の方やクラスメイト、家族の支えがあったから、折れずに頑張る事ができました。これから厳しい訓練や大変なことがたくさんあると思いますが、一人でも多くの人を笑顔にできる自衛官になれるように訓練に励みたいと思います。

